

ら い 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 115 4月号

2015年4月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib015.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.107

「本との出会いから」

御津町 市原 泰子

今、ビブリオバトルがブームになっています。面白いと思う本の魅力を紹介しあい、投票でチャンプ本を決める知的書評ゲームです。私も選者の一人として参加したことがあり、本との出会いがありました。

私が今、印象深く残っている本、それは龍野図書館の読書会仲間から教えてもらった2冊です。

1冊はさだまさし著作の『風に立つライオン』で、とても感慨深く読みました。その後、期待して映画を観たのですが、頭の中にストーリーが次々とでてきてしまうのです。本を読んでいる時ほど、感動しませんでした。逆に映画を観てから本を読めば、ストーリーに沿って頭の中に役者が出てきてしまいます。やはり本の方が内容は深く、自分自身でストーリーをイメージしていく醍醐味があるのでしょう。活字から頭にイメージしていくことは子どもにとっても良いこと。以前、司書の方が「映像を使つての読み聞かせではなく、絵本や本の朗読に意義と大切さが有る」と言われたことを重ねて思い出しました。

もう1冊は万城目学著作のファンタジー小説『鹿男あをによし』で、『山月記』(中島敦著)を思い出しました。夫は、漫画チックだとか、『坊ちゃん』(夏目漱石著)の現代版だと言いますが、私にとっては、痛快で思わずほほ笑んでしまう小説で、その中にも奈良の歴史・風土・美術に触れているところが存分にあり、高尚な感じがしました。

ビブリオバトルでの出会い、仲間からの紹介での出会い、いろいろな出会いを求めて春爛漫の今、『るるぶ』を持って世界遺産の宝庫、奈良大和路を歩いてみたくなりました。



『風に立つライオン』
(さだまさし 著 幻冬舎)
『鹿男あをによし』
(万城目学 著 幻冬舎)

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『江戸大名の好奇心』 中江 克己 著 第三文明社



「世界初」「日本一」…。江戸大名の好奇心は趣味の域を大きく超えていた！

本書は、歴史小説家である著者が、数学や美術、博物学や西洋技術などの分野に独創的な好奇心を発揮した江戸大名

27人に焦点をあて、その好奇心の正体に迫っている。

参勤交代の駕籠の中でも没頭するほど算術好きで、「算術大名」と言われた久留米藩主の有馬頼よりゆきは、生涯で40数冊もの算術書を著した。当時は12桁までの円周率を30桁まで算出していたというから、和算への情熱・造詣が並ではないことを物語っている。

大塩平八郎の乱鎮圧で知られる下総国古河藩主の土井利としつら位は、雪の結晶の形が気になって仕

方なかった。顕微鏡を冷たくして雪片を観察する作業を辛抱強く続け、世界初となる結晶図鑑『雪華図説』が完成。利位の好奇心は、30年の歳月をかけ精細に描かれた美しい雪の結晶183種の図録となった。

他に西洋画法を学び秋田蘭画を生み出した佐竹義敦や、各地を巡遊して湯治や捕鯨を楽しんだ殿様、異国文化に魅せられ流暢なオランダ語を話す殿様などが紹介される。

藩主としての責務を果たしながら、己の心のおもむくことに打ちこむ大名達の姿からは、時代は違っても変わらない人間というもの心のありようが伝わってくる。また様々な逸話を通して、その時代の暮らしや史実が浮かび上がり興味深い。歴史に関心がなくても楽しめる裾野の広さが本書の魅力となっている。

(揖保川図書館 岡村)

トピックス

4月23日(世界本の日・子ども読書の日) ~5月12日はこどもの読書週間です!!

子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に誕生しました。

幼少の頃から書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、物ごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか…。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとってもこどもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

図書館でもたくさんの本を用意して、子どもたちの来館をお待ちしています。

読書週間にあわせたイベントも開催しますので、ぜひご家族で図書館におこしくください。

【揖保川図書館】
ハンドベル&トーンチャイム演奏

ハンドベルやトーンチャイムは数人で音を分担して演奏する楽器です。やさしい音色、美しいハーモニーをお楽しみ下さい。

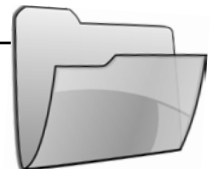
- ◎とき 5月9日(土) 13時30分~14時30分
- ◎場所 アクアホール 1階リハーサル室
- ◎出演 ポコ・ア・ポコ
- ◎対象 5歳以上(大人可)
- ◎定員 50名(要申込・先着順)
- ◎申込 揖保川図書館(電話可)



【御津図書館】
絵本カバーで
としょかんフォルダー!

絵本のカバーを利用して、貸出券やレシートが収納できる「としょかんフォルダー」をつくります。

- ◎とき 4月25日(土) 14時~15時30分
- ◎対象 4歳以上
- ※小学生以下は保護者同伴
- ◎定員 20名(要申込・先着順)
- ◎持物 はさみかッター、のり、定規、カッターマット(持っている人)
- ◎申込 御津図書館(電話可)



他にも図書館では、「えほんのじかん」や「おはなしのじかん」も開催します。詳しくは4ページの各館の行事予定をご確認ください。

※5月の予定は来月5月号、広報たつのお知らせ版4/25号に掲載します。



おすすめする子どもの本・107

『いぬとにわとり』 石井 桃子 作 福音館書店

おばあさんが、犬と一緒に住んでいました。そこへ、にわとりが5羽やってきました。そこでおばあさんは、にわとりにも小屋を作ってやって、犬に「にわとりとなかよくするんですよ」と言いかけさせて家へ入りました。

するとまもなくにわとりが

「けえこけえこ」

となきだしたので、おばあさんが犬に「にわとりになにかした

のかね」とたずねましたが、犬は「みてるだけみてるだけ」と答えました。次の日もにわとりが「けえこけえこけえこ」となきだしたので、おばあさんが犬に聞くと、犬は「にらむだけにらむだけ」と言います。3日目になると、にわとりが「けえこけえこけえこけえこ！」と騒がしくなきたてる

ので、おばあさんはびっくりして家から飛び出しましたが、犬はやっぱり「なでるだけなでるだけ」と答えるだけでした。そこでおばあさんは、犬におとなしくしてもらおうと、犬を柿の木の下につないでしまいます。

ところが、次の日になると今度は犬が「きゃんきゃんきゃんきゃん」となきだします。昨日までおとなしかったにわとりたちが、犬を囲んで口々に「みてるだけ！」「にらむだけ！」「なでるだけ！」「つつくだけ！」「けっとばすだけ！」と言って大騒ぎを始めます。

温かな色合いで描かれた絵から、何かいたずらをしてやろうと好奇心いっぱいのにわとり近づいていく犬の表情が、いきいきと感じられます。

読んであげるなら4歳くらいから。

(龍野図書館 三葉)

『やかまし村の春・夏・秋・冬』 リンドグレーン 作 岩波書店

スウェーデンのいなかにある「やかまし村」には家が3軒並んでいます。子どもは、6人。南屋敷には一人っ子のオッレ、北屋敷にはブリッタとアンナの姉妹、中屋敷にはラッセとボッセの兄弟と妹のリーサです。

ある日、リーサはお母さんに買い物を頼まれました。たくさん品物を覚えてアンナと歌いながら大村に向かいます。「いちばん いちばん 上等な あぶりソーセージひとつだよ。」店では、おじさんが次々に品物を包み、最後にドロップをくれました。ところが、やかまし村へ帰る途中の分かれ道で、リーサはイーストを忘れたことを思い出します。店に戻って買い足し、また分かれ道に来たところで、今度は薬がありません。砂糖も忘れていました。戻る度、おじさんはドロップをくれます。四度目、分かれ道を駆け抜け、ソーセージの歌を再び口ずさんだ時、2人はソーセージも買って

いかなかったことに気がつきました。

大みそかの

夜は12時まで起きて新年を迎え、夏休みに宝物探しを楽しみ、秋には村一番のおじさんの80歳の誕生日を祝います。リーサが語る四季折々の日々は、驚きや喜びに満ちており、表情豊かな挿絵も自然の中で子どもたちがのびのびと育っていく様子を伝えています。『やかまし村』シリーズ2冊目。9歳くらいから。

(新宮図書館 梅村)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	4月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	1～3歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	11日・18日 『かぼくん』他
	子どもの本を読む会	一般 ----- 第2木曜日(10時～11時30分)	9日 総会
	読書会	一般 ----- 第2金曜日(10時～11時30分)	10日 『日本奥地紀行』イザベラ・バード 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 ----- 第2・第4月曜日、第3日曜日(11時～11時20分)	13日・19日・27日 『ティッチ』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ ----- 土曜日(10時15分～10時45分)	4日・11日・18日・25日 「十二のつきのおくりもの」他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	11日・18日 『そらいろのたね』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	11日・18日 「鳥のみじい」他
	読書会	一般 ----- 第3金曜日(10時～12時)	17日 年間予定計画
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 ----- 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	12日・19日 『くんちゃんのはじめてのがっこう』他
	読書会	一般 ----- 第2火曜日(13時30分～15時30分)	14日 『愛の言葉』渡辺 淳一 著
	古文書を読む会	一般 ----- 第2土曜日(13時30分～15時30分)	11日 古文書の解説